

産業技術大学院大学 『人間中心デザイン』 全体シラバス

主担当教員 國澤好衛（産業技術大学院大学産業技術研究科創造技術専攻長、教授）  
安藤昌也（千葉工業大学）

定員 25名  
総時間数 最大 154.5 時間

項目	内容
プログラムの概要	<p>本プログラムは、「高いユーザビリティ、よりよいユーザー体験（UX）を提供するものづくり」を実践するための、人間中心デザイン（HCD）の諸理論並びに関連分野の知識の習得と、企画・デザインを行う具体的な手法及び技法の習得を目的としている。</p> <p>ユーザー調査・分析方法論、UXデザイン方法論、ユーザビリティ評価法のように、人間中心デザインプロセスに沿った実践方法を体系的にかつ実践的に学ぶことができることが本プログラムの特徴である。方法論編と応用演習編は、理論と実践に分かれているが、いずれもHCDのプロセスの位置づけに対応した講義科目の構成になっている。また、方法論編と応用演習編は、同じ講師が担当するため、理論と実践をスムーズに対応づけられるよう工夫している。</p> <p>方法論は、方法の背景や歴史などを踏まえ、理論的側面から位置づけを理解することを目標としており、表層的な手法の追従に終始しない知識基盤の構築を目指している。また、応用演習は各科目とも十分な演習時間を予定しており、実践力を育成することを目標としている。</p> <p>また、人間中心デザインを実践するための基礎能力として必要となる、デザインに関する基礎的理解は、デザインリテラシー編において学ぶ。デザインリテラシー編、方法論編、応用演習編の3つのユニットを学ぶことにより、現在産業界で求められているUXデザインやサービスデザインを担える人材に、不可欠な基礎的知識と必要な実践力を修得できる。</p> <p>これらの科目は、人間中心デザイン及びデザイン教育分野の第一人者が講師を務めており、実践的で最新の内容を体系的に学べる点が、本プログラムの特徴である。</p>
受講対象者	<p>本プログラムは、人間中心デザイン、UX デザイン、サービスデザインを学びたいと考えている方を対象としている。これまでの経験は問わないものの、人間中心デザインの必要性や関心度が高い方を想定している。</p> <p>なお、具体的には以下のような立場の方を対象と考えている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりに関連する企業の製品企画、デザイン、設計等に関わる方</li> <li>・UXデザイナー、ユーザビリティ・エンジニアを目指す方</li> <li>・人間中心設計専門家を目指す方</li> </ul> <p>※組み込み系、IT系などのソフトウェアの他、Web サイト、アプリケーション等の設計・UI デザイン、サービスデザイン、新事業開発等に関わる方にも最適の内容です。</p>
プログラムの狙い	<p>本プログラムは、「高いユーザビリティ、よりよいユーザー体験（UX）を提供するものづくり」を実践するための、人間中心デザインの諸理論並びに関連分野の知識の習得と、企画・デザインを行う具体的な手法及び技法の習得を目的としている</p> <p>【修得できるスキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの操作・解析等、産業デザインへの基礎的な理解</li> <li>・人間中心デザインの概念、規格、プロセスの理解</li> <li>・人間中心デザインプロセスにおける方法論の基礎知識の修得</li> <li>・人間中心デザインプロセスにおける諸手法の理解と実践方法の修得</li> <li>・製品利用におけるユーザー理解のための総合的理解力・分析力の修得</li> </ul>
プログラムの構成	<p>本プログラムは、次の3つのユニットを開講する。なお、それぞれのユニットは関連しており、途中のユニットから受講することはできない。ただし、受講ユニット数を選択することはできる（例えば、1.デザインリテラシー編のみ受講する等）。</p> <p>1. デザインリテラシー編</p> <p>1-1. 人間中心デザイン入門（6時間）</p> <p>1-2. デザイン操作論（9時間）</p> <p>1-3. デザイン解析論（16.5時間）</p> <p>1-4. 人間中心イノベーション特論（6時間）</p> <p>1-5. 発想ファシリテーション論（16.5時間）</p> <p>（開講期間：平成26年8月9日（土）から平成26年9月27日（土）まで）</p> <p>2. 方法論編</p> <p>2-1. H D C Dプロセス論（12時間）</p> <p>2-2. ユーザー調査・分析方法論（15時間）</p> <p>2-3. UXデザイン方法論（7.5時間）</p> <p>2-4. ユーザビリティ評価方法論（7.5時間）</p> <p>2-5. サービスデザイン特論（6時間）</p> <p>（開講期間：平成26年10月4日（土）から平成26年11月15日（土）まで）</p>

	<p>3. 応用演習</p> <p>3-1. ユーザビリティ評価総合演習 (18 時間)</p> <p>3-2. ユーザー調査総合演習 (10.5 時間)</p> <p>3-3. UXデザイン総合演習 (18 時間)</p> <p>3-4. HCD導入設計論 (6 時間)</p> <p>(開講期間：平成 26 年 11 月 21 日 (金) から 平成 27 年 2 月 28 日 (土) まで)</p>
出席要件	原則として、各科目において3分の2以上の出席を要する。
修了要件	履修証明書修得のための修了要件は、3つのユニットすべての必修科目において合格すること。なお、修了要件に認定するための各科目有効期限は、5年である。